

共通科目(選択必修科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA141	システムズ・マネジメント特別演習I-I	2	2.0	1	春AB	土5,6	2F講義室6	佐藤 秀典, 伴 正隆, 吉田 健一, 永井 裕久, 倉橋 節也, 徐 驊, ベントン キャロライン, 津田 和彦, 西尾 テヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾? 幸謙	研究指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自による研究テーマの絞り込み、博士論文の研究計画書としてまとめを指導し、研究テーマ発表会に臨める形を目標にする。初回は、情報倫理・研究倫理の説明を含めた学位取得に関するガイダンスを行なうので出来るだけ出席すること。	履修申請は1年次の春A期間 0BD5001と同一。
02FA142	システムズ・マネジメント特別演習I-II	2	1.0	1					研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイについて指導する。	履修申請は春A期間 2020年度開講せず。
02FA143	システムズ・マネジメント特別演習I-III	2	1.0	1-3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	春学期に開講するセミナー形式の授業である。システムズ・マネジメント特別演習I-I, IIを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間
02FA144	システムズ・マネジメント特別演習I-IV	2	1.0	1-3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	春学期に開講するセミナー形式の授業である。システムズ・マネジメント特別演習I-I, II, IIIを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間
02FA145	システムズ・マネジメント特別演習I-V	2	1.0	1-3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	春学期に開講するセミナー形式の授業である。システムズ・マネジメント特別演習I-I, II, III, IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間
02FA146	システムズ・マネジメント特別演習II-I	2	1.0	1					研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、春学期に引き続き、学生各自の研究テーマと研究方法の修得・補強について指導する。	履修申請は秋A期間 2020年度開講せず。
02FA147	システムズ・マネジメント特別演習II-II	2	1.0	1					研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに関連する既存の研究の徹底的なサーベイ、研究方法の習得・補強する。	履修申請は秋A期間 2020年度開講せず。
02FA148	システムズ・マネジメント特別演習II-III	2	1.0	1					研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに関連するサーベイ・レポートとしてのまとめを指導し、「博士論文指導委員会」に報告できる形を目標とする。	履修申請は秋A期間 2020年度開講せず。
02FA149	システムズ・マネジメント特別演習II-IV	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	秋学期に開講するセミナー形式のシステムズ・マネジメント特別演習の授業である。システムズ・マネジメント特別演習II-I, II, IIIを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間
02FA150	システムズ・マネジメント特別演習II-V	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	秋学期に開講するセミナー形式のシステムズ・マネジメント特別演習の授業である。システムズ・マネジメント特別演習II-I, II, III, IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間
02FA151	システムズ・マネジメント特別演習II-VI	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	秋学期に開講するセミナー形式のシステムズ・マネジメント特別演習の授業である。システムズ・マネジメント特別演習II-I, II, III, IV, Vを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間
02FA161	システムズ・マネジメント講義I-I	2	1.0	1-3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員によって、または研究指導教員の方針の下で複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに沿った研究の継続を促し、博士論文の骨格となる部分の構築を指導する。	履修申請は春A期間
02FA162	システムズ・マネジメント講義I-II	2	1.0	1-3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講する。学生各自に対して研究テーマに沿った研究の継続を促し、関連指導教員の協力を得て、構築した論文骨格を批判的視点から見つめ直すことを促す。	履修申請は春A期間

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA163	システムズ・マネジメント講究I-III	2	1.0	1-3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに沿った研究を継続。博士論文の骨格部分について中間報告書としてまとめを促し、中間報告会で報告できる形を目標とする。	履修申請は春A期間
02FA164	システムズ・マネジメント講究I-IV	2	1.0	1-3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究I-IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。	履修申請は春A期間
02FA165	システムズ・マネジメント講究I-V	2	1.0	1-3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究I-IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講究I-IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間
02FA166	システムズ・マネジメント講究I-VI	2	1.0	1-3	春ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究I-IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講究I-Vを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間
02FA167	システムズ・マネジメント講究II-I	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員によって、または研究指導教員の方針の下で複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講する。学生各自に対して研究テーマに関連する博士論文の書き方(論文構成、表現方法、文献引用等)を指導する。論文ドラフトの完成を促し、論文ドラフト発表会に臨める形を目標とする。	履修申請は秋A期間
02FA168	システムズ・マネジメント講究II-II	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに関連する博士論文の完成を促し、論文審査委員会に提出できる形を目標とする。	履修申請は秋A期間
02FA169	システムズ・マネジメント講究II-III	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに関連する博士論文の完成を促し、論文審査委員会に提出できる形を目標とする。	履修申請は秋A期間
02FA170	システムズ・マネジメント講究II-IV	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究II-IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。	履修申請は秋A期間
02FA171	システムズ・マネジメント講究II-V	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究II-IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講究II-IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間
02FA172	システムズ・マネジメント講究II-VI	2	1.0	1-3	秋ABC	随時		システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究II-IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講究II-Vを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間

専門科目(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA201	マーケティングコミュニケーション	1	1.0	1-3					本講義では、市場のニーズを充足する製品・サービスを提供し、それを普及・浸透させ、顧客とのよい関係を長期的に形成・維持するために必要なコミュニケーションとその方法について検討する。具体的には、ブランド構築、広告コミュニケーション、セールスプロモーション、顧客維持などに関する国内外の諸文献を講読し、関連する知識と研究方法を体得すると共に、いくつかの具体的なテーマを設定して、マーケティングコミュニケーションの展開方法を議論する。	OBDM201と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA202	消費者マーケティング	1	1.0	1 - 3	秋B	金7, 8	2F講義室6	西尾 チヅル	本講義では、市場を構成する最終消費者の構造やメカニズムを学習し、最終消費者向けのマーケティング戦略のあり方とその方法について検討する。具体的には、最終消費者の認知、態度、行動、満足度等の意思決定プロセスとそれを規定する消費者の個人差要因と状況要因についての代表的な理論やモデルに関する国内外の文献を講読し、関連する知識と研究方法を修得する。また、いくつかの具体的なテーマを設定して、消費者マーケティングの展開方法を議論する。	西暦偶数年度開講。 0BDM202と同一。
02FA203	マーケティング・サイエンス特論	1	1.0	1 - 3	春B	土2, 3	2F講義室6	佐藤 忠彦	本講義では、消費者及び企業の行動をモデル化し、マーケティング上有用な高次情報を抽出するための統計的モデリング法について検討を行う。具体的には、階層ベイズモデル、状態空間モデルなどの手法及びそれらの適用事例について紹介し、関連する知識と研究方法を修得するとともに、最新のマーケティング・サイエンスアプローチを議論する。本講義のキーワードは、ベイジアンモデリング、階層ベイズモデル、状態空間モデル、マルコフ連鎖モンテカルロ法、カルマンフィルタ/固定区間平滑化、粒子フィルタ、市場反応モデル、離散選択モデル等である。	0BD5002と同一。 毎年開講
02FA206	イノベーション・マネジメント	1	1.0	1 - 3	通年	集中			イノベーションは広い概念であり、技術シーズと市場ニーズの新しい結びつきにより社会的・産業的な変革を伴う現象と定義される。本講義ではとくに経営学に関連するイノベーションとして、資源ベース理論と組織変革、イノベーション・ダイナミクス(イノベーションと既存企業への影響など)、技術シーズの事業化、イノベーション成果のグローバル展開などのトピックを扱う。さらに、これらのトピックについてビジネス・ケースを配布し、事例をもとにして現実の課題を考察し、実感をもって事例分析ができるようにすることを目的とする。	0BDM204と同一。 非常勤講師・開講未定
02FA207	経営戦略総論	1	1.0	1 - 3	秋C	土5, 6	2F講義室6	立本 博文	本講義では、経営戦略論の学術研究を理解し自ら実施するために必要な学術理論と研究手法について概説する。ただし経営戦略に関する研究を行うに当たり、必須となる研究手法の理解を優先し、理論については必要に応じて概説する。研究手法について、とくに統計分析と事例分析について取り上げる。統計分析については経営学研究で頻りに利用される回帰分析を主に扱う。事例分析については同じく経営学研究で頻りに利用される比較事例分析を主に扱う。また、それぞれの研究手法における代表的な適用例について既存研究をもとに理解を深める。学術研究を行うにあたり必要な研究手法を理解することを目的とする。	西暦偶数年度開講。 0BD5003と同一。
02FA208	人材開発論	1	1.0	1 - 3					企業活動のグローバル化、労働市場の流動化、雇用形態の多様化の中で、日本企業において従来とは異なる人材育成、人的資源活用のパターンが出現している。こうした潮流の変化に対応すべく、国内外の成功事例に基づく新しい労働慣行を積極的に取り入れる企業や官庁の政策提言も増加している。本講では、社会心理学的な観点から、人材をとり巻く雇用環境の変化の中で、従業員の意識特性や行動様式がどのように変化しているのか、また、企業間移動にともなう汎用的な能力開発に向けた人事政策について、最新の事例研究や学術論文を用いて、参加者の議論を通して考察していく。	0BDM205と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
02FA215	金融工学総論	1	1.0	1 - 3					本講義では、派生証券理論やポートフォリオ最適化理論を中心に、金融工学分野に関するより発展的なテーマについて取り扱うことを目的とする。具体的には、アセットプライシング理論、ポートフォリオ最適化理論、金利期間構造モデル、オプションヘッジ理論などのテーマからトピックを選択し、論文や研究の方法論について議論を行う。また、当該トピックスについて関連論文を読み、発表を行うことで理解を深め、さらなる知識習得を目指す。	0BDM208と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA220	金融ビジネス総論	1	1.0	1 - 3	通年	集中			フィンテックに代表されるように、金融ビジネスではさまざまな面で大きな変化が起こりつつある。本講義では、金融ビジネスにおけるそうした先端的なテーマについて、その背景や現在の動向、解決すべき課題や今後の方向性などを理解することを目標とする。テーマとしては、金融市場分析、マクロファイナンス、投資戦略、リスク管理、デリバティブなどを予定している。また、学術的なファイナンス研究と実際の金融ビジネスとの関わりについても理解を深める。	OBDM212と同一。 非常勤講師・開講未定
02FA225	計画数理総論	1	1.0	1 - 3					企業や社会システムに内在する諸問題の解決にあたって、数理的なモデルを活用することは有益であると広く認識されている。その理由には、定量的な評価が実現されることを挙げることができる。数理的なモデルによる課題解決において、そのモデル化と解決手法は密接に関連している。本講義では、その基盤となるオペレーションズ・リサーチ、特に、数理最適化理論を修得することを目的とする。数理最適化の基盤となる線形最適化を起点に、グラフ理論、ネットワーク理論、組合せ最適化理論や整数最適化理論を網羅的に扱う。これらの理論を体系的に学ぶことで、対象となる現象の問題構造を分析し、得られた結果の意味解釈が可能となるスキルを修得する。	OBDM213と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
02FA226	トータルロジスティクス	1	1.0	1 - 3	春C	水7,8	2F講義室6	猿渡 康文	本講義では、情報通信技術が急速に発展した現代社会においても必要不可欠な、「もの」の流れと保管、サービス、加えて関連する情報を計画、実施およびコントロールする過程であるロジスティクスを、その発生地から消費地までの全体最適を指向した統合的なシステムとして捉え、過程に内包されるさまざまな意思決定問題を数理最適化モデルとして扱い、オペレーションズ・リサーチの理論や手法の適用方法を修得することを目的とする。ロジスティクスに関するいくつかの最新の研究論文を題材に、そのモデル化と問題解決方法を講義するとともに、関連するトピックスについて関連論文を読み、発表を行うことで理解を深める。	西暦偶数年度開講。 OBDM214と同一。
02FA229	動的システム総論	1	1.0	1 - 3	春B	木7,8	2F講義室6	徐 驊	現実社会において生じる動的な諸現象やシステムを記述するには微分方程式(差分方程式)モデルがよく用いられている。自然科学、工学に限らず、経済やビジネスなどの社会科学においても、問題の対象を動的システムとして考えることが重要となっている。本講義では、時間的な要素を取り入れる動的システムにおける最適化問題と動的ゲーム問題を基本概念から解き方で説明する。その後、多期間の経済やビジネスなどの社会システムにおける経済成長、資産運用、市場競争などの応用問題に適用する。	西暦偶数年度開講。 OBDM215と同一。
02FA230	ソフトコンピューティング	1	1.0	1 - 3					ビジネスにおける意思決定問題には、将来の状況に関する不確実性や状況の記述における言語の曖昧さ、データの不確実性など、従来のクリスプな方法で記述し課題解決することが困難である場合が含まれる。ソフトコンピューティング技術には、曖昧さを扱うファジ理論やラフ集合、最適化問題の近似解法である遺伝的アルゴリズムや、パターン認識の代表的な方法であるニューラルネットワーク等が含まれる。本講義では、それらの基礎的理論について述べた後、受講生の関心に応じた関連する文献の輪読を通じて理解を深める。	OBDM217と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
02FA231	数量化手法特論	1	1.0	1 - 3	秋C	火7,8	2F講義室6	領家 美奈	データを分析する際は、データの型に注意して適切な分析手法を選択する必要がある。本講義では、アンケート調査などで用いられるカテゴリカルデータを扱うために、いくつかの代表的な数量化手法について学ぶ。またデータの特性をよりよく把握しモデル構築を行うため、クラスター分析についても学ぶ。手法の適用例については、受講生の関心に応じて書籍や論文を取り上げ、議論することで、より深い理解をはかる。あるいは、感性情報処理をとりあげ、感性評価データの収集とその解析について経験を積み、調査と分析の一連の流れについても理解を深める。	西暦偶数年度開講。 OBDM218と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA232	経営科学総論	1	1.0	1 - 3	通年	集中			経営における意思決定問題には、直観や経験だけでなく「科学的な意思決定方法」の活用が重要である。そこにはオペレーションズリサーチやデータ中心科学などの広範な領域から実問題へ援用されている様々な手法がある。本講義では、経営の各ファンクションで使われる様々な「科学的な意思決定方法」について学ぶ。方法論それ自身を深いレベルで理解しようとするのではなく、むしろ「科学的な意思決定方法」の概略を知り、それを問題発見や問題解決に向けて自在に駆使できる能力を修得することを目的とする。	0BDM219と同一。 非常勤講師・開講未定
02FA234	プロジェクト・マネジメント論	1	1.0	1 - 3					企業は変革を成し遂げるために、各種プロジェクトを実施する。プロジェクトを確実に成功させるためには、ビジョンの明確化、計画の立案、作業の実施、状況のモニタリングとコントロールの各段階において体系化されたマネジメントプロセスを実施することが大切である。本講義では、その手法として、WBS、PERT、EVM、リスクマネジメント、品質マネジメント、見積り技法等を習得する。それらの技法は、産業分野や地域を超え標準化されたものである。	02CF207, 0BDM222と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
02FA238	情報検索特論	1	1.0	1 - 3					インターネットの発達などにより、アクセスできる情報は爆発的に増加している。この莫大な情報の中から、キーワード検索のみで必要な情報を探し出すことは困難になりつつある。このような背景のもと、同義語や類義語、シソーラスなどを用いた概念検索や、個人の検索履歴を用いた意図理解検索、世の中で良く検索されているキーワードを活用した予測検索など、高度な検索技術が開発されつつある。本講義では、これらの高度な検索技術について紹介すると共に、その要素技術および適用分野について紹介する。これらの事例を参考にすることで、情報検索のアルゴリズムについて理解する。	02CF201, 0BDM224と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
02FA239	知的ドキュメント管理論	1	1.0	1 - 3	春C	応談		津田 和彦	氾濫するドキュメント情報を、知識とするには「必要とする情報」を漏れなく高速に閲覧できるように管理する必要がある。ドキュメントの中にはテキスト情報だけでなく、図や表など様々な情報が記載されている。さらにドキュメントには、作成者や作成日、閲覧履歴など多くの属性情報が付与されている場合が多い。本講義では、これらの情報を総合的に捉え、目的に応じたドキュメントを漏れなく高速に検索できるように管理する手法について議論すると共に、その限界や問題点などについても考察する。これにより、ドキュメントを効果的に利用するための管理方法を習得する。	西暦偶数年度開講。 02CF202, 0BDM225と同一。
02FA242	ネットワーク特論	4	1.0	1 - 3					インターネットの発展は人工知能やデータマイニング、深層学習、強化学習などの技術と共に、新しい社会インフラとしての地位を確立した。本講義では、このような背景の中、ビッグデータやクラウドサービスなど関連の最新論文を題材に、各論文の貢献について議論する。議論の目標は、論文が研究分野にもたらす貢献に留まらず、各論文の査読プロセスなどにも立ち入りながら、査読の仕方、査読への対応の仕方などについて理解する。	02CF203, 0BDM227と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
02FA243	情報マネジメント	4	1.0	1 - 3	秋C	応談		吉田 健一	現代の情報処理技術がWWWのような新しい価値を創出しようとしている一方、迷惑メールやインターネットウイルス等のマイナス面が新たなマイナスの社会要因を作りつつある。本講義では、このような社会背景の中、問題となる各種概念および関連技術に関する論文を題材に、論文内容に関する議論を行う。議論の目標は、論文が研究分野にもたらす貢献に留まらず、各論文の査読プロセスなどにも立ち入りながら、査読の仕方、査読への対応の仕方などについて理解する。	西暦偶数年度開講。 02CF204, 0BDM228と同一。
02FA246	複雑システム論	1	1.0	1 - 3					流行現象、流通・取引関係、組織運営、伝染病など、人や組織に起因する社会のさまざまな関係は、複雑システムの視点から捉えることができる。これらを分析する手法として、社会ネットワーク分析や複雑ネットワーク分析がある。また、ネットワークモデルを利用したシミュレーション手法として、社会シミュレーションがある。本講義では、これらの理論的背景とモデリング手法を講義するとともに、実際の現象に対して分析を試みることを通して、複雑システムのモデル化の理論と手法を習得する。	02CF205, 0BDM229と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA247	知能情報システム	1	1.0	1 - 3	秋B	土5,6	2F講義室6	倉橋 節也	複雑な社会や経営の問題を扱うためには、知能情報システムのモデル化が必要となる。本講義では、人工知能をベースとしたマルチエージェント技術に基づくシミュレーション&ゲーミング手法を紹介する。これはボトムアップ型のアプローチであり、ソフトウェアエージェントと人間を含むそれぞれの主体が、シンプルなゲーミング環境の下で、自律的・適応的な意思決定を通して、複雑なシステムを実験的に再現することができる。本講義ではゲーム設計を含め、グループワークを通して自律的に参加することで、知能情報システムのモデル化について理解する。	西暦偶数年度開講。 02CF206, OBD5005と同一。
02FA250	情報システム特論	1	1.0	1 - 3	通年	集中			情報システム科学および計算機科学及びコンピュータ・サイエンスの分野には、人工知能、データ・マイニング、自然言語処理、プログラミング言語、ソフトウェア工学、ネットワークなどがある。本講義では、知能情報システム、言語情報システム、経営情報システム、分散システム、ネットワークシステムなど、さまざまな情報システムの最新のトピックを取り上げ、最近の研究成果に関する文献講読を交えながら講義する。	OBDM226と同一。 非常勤講師・開講未定
02FA252	知識経営	4	1.0	1 - 3	通年	集中		ベントン キャロライン	知識経営とは、企業・組織のあらゆる側面のイノベーションを促進するため、組織の内部に存在する個人の知識を組織全体で蓄積・共有して業務の効率化を行い、同時に組織内・外のコラボレーションから発生する価値創造を目指すマネジメント・パラダイムである。本講義では、組織の個人とグループの戦略的知識共有と創造のプロセスと促進要因(文化、ビジョン、ビジネスモデル、ビジネス戦略、コンテキスト、HRMなど)について、経営学の観点から体系的に議論・研究する。講義は日本語で行う。	
02FA270	組織行動論	1	1.0	1 - 3	秋B	土4,5	4F435ゼミ室	永井 裕久	本講義では、組織の中の人間行動について、3つの行動次元(個人・集団・組織)から、個人の意識特性やパフォーマンスに影響を与える特性、並びに、組織マネジメントについて学習する。各次元に関連するトピックス(例:パーソナリティ、リーダーシップ、動機づけ、コミュニケーション、集団力学等)について、定性的および定量的に分析し、適用するアプローチの仕方について、受講生間の討論および、アクションラーニングを通して考える。	西暦偶数年度開講。 OBDM206と同一。
02FA273	共分散構造分析特論	1	1.0	1 - 3					本講義では、社会科学研究で頻繁に使われる共分散構造分析について、1理論面の理解を深める、2共分散構造分析が使われている応用論文を批判的に輪読し、共分散構造分析の理解を深める、3共分散構造分析について実際のデータ解析経験を積む、のいずれかを学生の興味にあわせて選択し、これを目的として授業を行う。1に関しては、定評のある書籍や論文を使い、近年の発展についても触れる。2に関しては学生各自の専門分野における論文を選ぶ、3に関しては、共分散構造分析の使い方に関する良書を使い、地に足の着いた理解を目指す。	OBDM220と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
02FA275	システムデザイン論	1	1.0	1 - 3	春B	金7,8	2F講義室6	木野 泰伸	世の中には、社会システム、経済システム、情報システムなど、物理的、概念的要素が集まることによって構成されるシステムが多く存在する。それらシステムは、人類によって設計される。良い設計を行うことにより、社会に貢献することができる。本講義では、モデル化技法と、システム設計を行うための技法について習得する。なお、良い設計を行うためには、ニーズ、要件を理解し、優れた概念モデルを作成する必要があるため、文章データから概念モデルを作成する技法についても合わせて習得する。	西暦偶数年度開講。 02CF208, OBDM223と同一。
02FA276	調査データ解析特論	1	1.0	1 - 3	秋C	金7,8	2F講義室6	尾? 幸謙	本講義では、マルチレベルモデル、カテゴリカルデータ解析、欠測データ解析について、1理論面の理解を深める、2各手法が使われている応用論文を批判的に輪読し、各手法の理解を深める、3各手法について実際のデータ解析経験を積む、のいずれかを学生の興味にあわせて選択し、これを目的として授業を行う。1に関しては、定評のある書籍や論文を使い、近年の発展についても触れる。2に関しては学生各自の専門分野における論文を選ぶ、3に関しては、各手法の使い方に関する良書を使い、地に足の着いた理解を目指す。	西暦偶数年度開講。 OBDM221と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA277	実証会計論	1	1.0	1 - 3	秋C	水7,8	2F講義室6	中村 亮介	本講義では、会計学の先進的な知識をベースに、会計情報が実務のどのような局面で利用されているのかを考察し、会計情報の活用の仕方について、テキストや実証研究の結果をもとに議論する。具体的には、報酬契約(たとえば利益連動型報酬契約)・債務契約(たとえば財務制限条項)・証券投資(たとえば経営者による業績予想)といった局面における会計の機能を理解し、その知識を実務に応用できることを目標とする。そのため、当該トピックスについて関連論文を読み、発表を行ってもらうことで理解を深める。	西暦偶数年度開講。 OBDM207と同一。
02FA278	リスクマネジメント総論	1	1.0	1 - 3					リスクマネジメントとは、リスクの特定・識別、リスクの定量化・測定、リスクのアセスメント・評価とリスクのコントロールなどの一連の活動から構成されているシステムティックなプロセスのことである。本講義では、リスクマネジメントの基本概念を解説するとともに、リスクマネジメントの各段階に使われている手法やモデルなども紹介する。たとえば、大規模・複雑なシステムのリスク特定・識別に使われている階層ホログラフィックモデル法やリスクのアセスメントとコントロールに必要とするリスクフィルタリング、ランキングとマネジメント法などを紹介する。学生はこれらの手法やモデルなどを使って、各自の関心をもつリスクマネジメントの課題を挑戦する。	OBDM216と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
02FA279	財務会計特論	1	1.0	1 - 3					本講義では、会計制度の国際化という状況のもとで、財務会計の最新論点(金融商品会計、リース会計、退職給付会計、税効果会計、減損会計、連結会計など)について整理し、これについてどのような実証研究が行われているのかを学習する。そして、各ステークホルダーの意思決定に役立つような会計制度を構築するためには今後、どのような研究が必要かを考える。そのため、当該トピックスについて関連論文を読み、発表を行ってもらうことで理解を深める。	OBDM5004と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
02FA280	経営戦略特論	1	1.0	1 - 3					本講義では、経営戦略論に関連する特定テーマについて概説を行う。特定テーマの選定としては、(1)経営戦略論の様々な研究テーマの中で理論的・実証的に開発途中であり研究対象として重要であるもの(2)近年の社会的状況や学術的トレンドに応じて研究成果が多く報告されているもの、を中心に1つのテーマを選定する。このようにして選定された特定テーマに対して、頻繁に利用される理論的枠組と研究手法を概説する。それに続いて、欧米の主要なジャーナルの論文の中心に輪読し、最先端の研究動向を理解することを目的とする。	OBDM203と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
02FA281	組織研究	1	1.0	1 - 3	秋A	火7,8	2F講義室6	佐藤 秀典	この講義では、近年の経営組織論分野における研究を取り上げ、そこで用いられている理論および分析のための手法について検討する。経営組織論における研究では、対象とする現象が組織内の個人に焦点を当てるものから組織間のネットワークに焦点を当てるものまで多岐にわたるため、用いられる理論も多様である。また、分析のための手法も定性的アプローチ、定量的アプローチの両方を含み、様々なものが用いられている。そのため、実際の研究の詳細を見ることで、理論の理解を深めるとともに、主要な研究手法についても学ぶ。それにより、自らの研究に生かせるようにすることを目指す。	OBDM291と同一。
02FA282	計量マーケティングモデル特論	1	1.0	1 - 3	春C	木7,8	2F講義室6	伴 正隆	本講義では、マーケティング・サイエンスの分野で登場する、統計学や計量経済学をベースとしたいくつかのモデルについて、文献講読を通して、モデルの特性とそのモデルを使用する背景、さらに最新のトピックについて検討する。とくにロジットモデルやプロビットモデルを代表とする離散選択モデルの消費者パネルデータへの適用を扱い、手法だけでなく、文献の中に登場するマーケティングの理論や概念とデータの特性まで合わせて検討することでモデル構築の素養を高める。	OBDM292と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA283	国際政治経済の概況と経営	1	1.0	1 - 3	春B	火7,8	6F651ゼミ室	礪波 亜希	今日のビジネス環境は国際政治経済と密接にかかわる。例えば、東アジアの国際政治情勢がインフラ投資事業に影響をもたらしたり、地球温暖化で北極の氷が溶け、新たな航路が開発されたりする。こうした背景の下、本講義では、国際政治経済の概況を理解するために必要な各種分析ツールを学習し、実証分析を行うことを試みる。特に、国際貿易、国際金融、多国籍企業による生産活動、またこうした領域における国際制度、アクター、さらにグローバルイノベーションをめぐる論争について、国際政治経済学の4つの世界観(リアリズム、リベラリズム、マルクス主義、構成主義)に基づいて検討を行い、個別の現象がビジネスや国際経営に及ぼす影響を及ぼし得るのかを考える。	OBDM293と同一。
02FA284	計量ファイナンス特論	1	1.0	1 - 3	秋B	火7,8		山田 雄二	本講義では、ファイナンス工学分野とその周辺に関する領域の中でも特に計量分析に関する内容を中心として、計量ファイナンス分野に関するより発展的なテーマを取り扱う。具体的には、非完備市場における派生証券価格付け、オプションヘッジ、電力市場、天候デリバティブ、バリュエーションや信用リスク問題などのテーマからトピックを選択し、論文や研究の方法論について議論を行う。また、当該トピックについて関連論文を読み、発表を行うことで理解を深め、さらなる知識習得を目指す。	教室:6F649計算機講義室 西暦偶数年度開講。 OBDM209と同一。
02FA285	金融データ解析	1	1.0	1 - 3					本講義では、金融分野で現れるさまざまなデータを利用して金融市場分析や投資戦略分析などを行う際に必要となる分析手法やその基盤となる統計理論を修得することを目標とする。金融データは一般に時系列データとなるため、多変量自己回帰モデルや誤差修正モデルなどの時系列モデルを最初に取り上げ、さらに発展的な内容として多変量GARCHモデルやレジームシフトモデルなども解説する。また具体的な分析事例を説明するとともに、分析用ライブラリも紹介する。	OBDM210と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
02FA286	確率モデルと意思決定	1	1.0	1 - 3	春C	金7,8	2F講義室6	牧本 直樹	企業活動に関わる意思決定では、将来的な不確実性をどのように計量化すればよいかという問題が重要となることが多い。本講義では、確率モデルを用いてそうした不確実性を定量化し、その上で意思決定を最適化問題として定式化、分析する枠組を理解することを目標とする。具体的には、最適制御、ゲーム理論、契約理論などに関する論文からさまざまな例を取り上げ、それらを通して確率モデルの理論、モデルの構築方法や分析方法を解説する。	西暦偶数年度開講。 OBDM211と同一。
02FA421	システムズ・マネジメント論講I-I	2	1.0	1 - 3	春ABC	応談		礪波 亜希, 佐藤 秀典, 伴 正隆, 吉田 健一, 永井 裕久, 倉橋 節也, 徐 驊, 津田 和彦, 西尾 チヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾? 幸謙	春学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は春A期間 OBDM281と同一。
02FA422	システムズ・マネジメント論講I-II	2	1.0	1 - 3	春ABC	応談		礪波 亜希, 佐藤 秀典, 伴 正隆, 吉田 健一, 永井 裕久, 倉橋 節也, 徐 驊, 津田 和彦, 西尾 チヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾? 幸謙	ビジネスマネジメント論講I-Iの履修を踏まえ、春学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は春A期間 OBDM282と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA423	システムズ・マネジメント論講I-III	2	1.0	1 - 3	春ABC	応談		礪波 亜希, 佐藤 秀典, 伴 正隆, 吉田 健一, 永井 裕久, 倉橋 節也, 徐 驊, 津田 和彦, 西尾 チヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾? 幸謙	ビジネスマネジメント論講I-IIの履修を踏まえ、春学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は春A期間OBDM283と同一。
02FA424	システムズ・マネジメント論講II-I	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談		礪波 亜希, 佐藤 秀典, 伴 正隆, 吉田 健一, 永井 裕久, 倉橋 節也, 徐 驊, 津田 和彦, 西尾 チヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾? 幸謙	秋学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は秋A期間OBDM284と同一。
02FA425	システムズ・マネジメント論講II-II	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談		礪波 亜希, 佐藤 秀典, 伴 正隆, 吉田 健一, 永井 裕久, 倉橋 節也, 徐 驊, 津田 和彦, 西尾 チヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾? 幸謙	ビジネスマネジメント論講II-Iの履修を踏まえ、秋学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は秋A期間OBDM285と同一。
02FA426	システムズ・マネジメント論講II-III	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談		礪波 亜希, 佐藤 秀典, 伴 正隆, 吉田 健一, 永井 裕久, 倉橋 節也, 徐 驊, 津田 和彦, 西尾 チヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾? 幸謙	ビジネスマネジメント論講II-IIの履修を踏まえ、秋学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は秋A期間OBDM286と同一。